

## 学会参加報告

### ICMR2022 (The 6th International Conference on Materials and Reliability)

慶應義塾大学大学院 総合デザイン工学専攻  
小茂鳥研究室博士2年 羽山元晶

私は、2022年12月7日～日に KDDI 維新ホール(山口県) & オンラインのハイブリット形式で開催された、The 6th International Conference on Materials and Reliability に参加し研究発表を行いました。本学会は、材料の破壊や信頼性に関する学会で、通常では隔年で開催されています。今回も材料強度や信頼性に関わる研究者・学生が集まり、150件を超える発表が行われました。参加者は日本、韓国、中国からの参加者がほとんどでした。対面とオンラインのハイブリット開催でしたが、対面会場にも100名近くの方が参加しており、活発な質疑が行われていました。

今回、私は疲労のセッションにおいて「Fatigue Property Evaluation of SCM420H Steel Treated by Short-time Carburizing with Atmospheric-controlled Induction-Heating Fine Particle Peening」のタイトルで、現在開発を進めている新しい浸炭処理方法についての研究を発表しました。本研究はまだ発展途上の技術ですが、今回の発表と質疑を通して処理方法のさらなる改善点や、研究を進める上で着目すべき点などが見え、非常に有意義な発表となりました。また私自身にとって3回目の国際会議での発表となり、まだまだ課題は残るものの、初めての国際会議発表からの成長を感じることができた点も収穫であったと感じています。また、他の方の研究発表ではあまりなじみのなかった信頼性評価に関する研究を学ぶことができ、普段の自分の専門以外の知見の幅を広げるよい機会となりました。

最後に、今回の発表の機会を与えて下さった小茂鳥先生、会場にてお世話になったすべての皆様、研究を進めるにあたり協力いただいた皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。



会場の KDDI 維新ホール



バンケットで披露された神楽舞